

「老いを共に」

「健やかなるときも、病めるときも・・・」と誓って30数年。共に白髪はおろか、機敏さにはほど遠く、もの忘れも多くなった今日この頃。

お互いが以心伝心で事が足り、たとえ行き違いがあっても老化にことよせて、「まあ一、しょうがないなあ」と許しあって過ごす日々。もはや水か空気かという存在になっている。

夫婦は他人と言われながらも、手をたずさえて同じときを持ち合わせてきた夫婦の絆は、親子の縁を越えるものがあると、年輪を重ねてきてこそ思い至ること。子供達が、たとえどんな環境を整え気遣いをしてくれている、心の隙間を埋めてくれる存在にはなり得ないだろうと思う。

共に支え合って闘病生活を送られている同世代のご夫婦を身近に見るとき、どちらが先になってもいずれは訪れるであろう独り身のときに思いが馳せ、胸がふさぐ。

(M・M)

次回この欄はMさんです。お楽しみに！  
「友達の輪」次々指名していきましょう。

以上からわかるように、その団体の規模や考え方によって、専門化した仕事か今までの形のボランティア活動か、というように大きく二分されていく方向にあるようです。

- ◆ 利用者の方の精神的安心感のある活動を継続し、あくまでも地域福祉につなげていく活動
- ◆ 長期重症が増えている実情から、資格を取得し、プロ集団を作り、アマチュアの部分と二本建の構想をもった活動
- ◆ 行政の補完の立場を明確にしている活動
- ◆ 赤ちゃんの「お守り等」
- ◆ 家族支援や生活全体支援などきめ細かな活動(墓参り同行、お盆お正月の生活支援、産後の支援や)

県内各団体の傾向は次の通り

在宅福祉サービスの活動は、公的介護保険導入をきっかけに、非営利団体の持つさまざまな成果や問題を今一度研究討論する時期を迎え、各団体間でも試行錯誤が始まっています。今回のセミナーでもその傾向が伺えます。

ご支援をいただきました一宮市社会福祉協議会と共催で行いました平成八年度の養成講座が七月三日を最後に三十六単位の全課程を終了致しました。

充実した講座内容に欠席者少なく、最後まで熱心に受講。後半は実習や実技、見学で具体的な経験をしました。

この講座のひとつひとつが、何処かで何かの形で生かされることを願っています。

講座を通して、まごころサービスの活動を理解し、入会を下さった六名の皆様。講座を生きたものとして、活動に参加下さい。

平成八年度 養成講座閉講

新入会員として登録をいただきました

無影灯

【消費税】

谷 一夫

消費税のアップが決まった。何がなんだか訳が分からないうちに、重要なことがどんどん決められていく。

250兆円もの借金を抱えて、国家財政が危機的状況にあるとか。しかし、だから増税というのはいささがイージーではあるまいか。かつて「増税なき財政再建」ということが言われたが、まず、徹底的な行政改革と財政の見直しこそが先にあるべきだ。日本中、どんな山奥に行っても、道路は舗装され、川はコンクリートで固められている。公共投資という名の無駄づかいは、票にはなるかも知れないが、大方の国民のためにはなっていない。この事態を招いた政治家と官僚が少しの血も流さず、何の責任もない国民につけをまわすとは、あまりにも人を馬鹿にした話ではないか。

3%の消費税導入が議論されたとき、福祉に金がかかるからということと、直接税と間接税の比率を見直すことが必要だという、二つの理由が強調されたように記憶している。その議論を少しも詰めで、公的介護保険も中途半端な形に変えてしまい、国民に新たな負担だけは求める。どうにも納得できない話である。

消費税が初めて導入されたとき、自販機のジュースが、本来なら103円になるべきところを110円になった。今回はいったいいくらになるのだろうか。

益税なるものもなんとかしてほしい。消費税を納めている業者には、税務署が「納付済証」を発行して店頭に掲示するとか、領収書には「消費税納入義務者番号」を必ず書かせるとか、不透明さを少しでもなくす、工夫と努力が最小限必要である。

「うちなんか5%丸儲けで、消費税サマサマですわ」などという話はもう願ひ下げである。

(谷医院院長)

8月の予定

- 1日(木) 会報「まごころ尾張」発行  
ミニデイサービス  
-宮保ボランティア 山田、野
- 3日(土) アウン盆踊り大会参加
- 5日(月) 定例会 思いやり会館
- 7日(水) 運営委員会
- 8日(木) -宮保ボランティア 松原、浅野
- 12日(月) -宮保ボランティア 鈴木、小野木
- 13~15日 お盆休み
- 19日(月) -宮保ボランティア 城田、谷
- 21日(水) 運営委員会
- 22日(木) -宮保ボランティア 浅菜、遠山
- 24日(金) -宮市在宅福祉支援システム実務者会議
- 26日(月) -宮保ボランティア 宮田、小出
- 28日(水) 運営委員会
- 29日(木) -宮保ボランティア 岩田、松本



各施設で恒例の夏祭りや盆踊り大会

今年も各施設の夏のイベントが始まりました。入所者の皆様には大事で楽しみな行事です。当センターでも参加させていただき、一緒に夏の暑さを吹き飛ばし、楽しませていただきたいと思います。

お盆やすみ

8月13・14・15日  
よろしくお願ひ致します

9月の定例会は 会場がいつもと違います

9月2日(月)午前9時45分~12時15分 一宮市民会館会議室  
◆ケアをされた方は 9時45分~10時15分  
◆定例会及び勉強会 10時15分~12時15分

この日はケアはお休みです。利用会員さんご承知下さい。  
協力会員さんへはご出席下さい

平成八年度愛知県住民参加型

在宅福祉サービス団体セミナー開催

(平成八年七月八日)